

I はじめに

1 計画の趣旨

箱根西麓に位置する坂地区は、森林や箱根西麓三島野菜を生産する農地など豊かな緑に恵まれ、至るところで富士山や市街地を眺望できるとも環境のよい集落です。一方、三島スカイウォークや伊豆フルーツパークといったレジャー施設が立地し、山中城跡や箱根旧街道などの歴史資源もあることから、国内外から多くの観光客が訪れています。

また、小規模特認校である三島市立坂小学校の学区となっており、特色ある教育を求めて学区外から通学する児童や移住者もいるなど地区外との交流も盛んですが、近年、少子高齢化が進行しています。

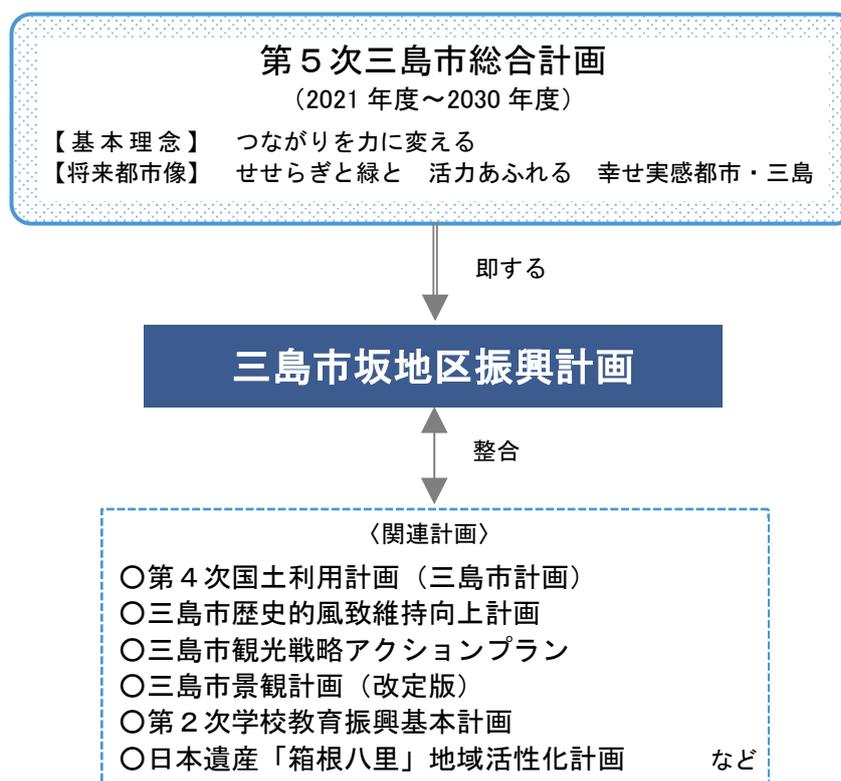
『坂地区振興計画』（以下、本計画という。）は、地区の特性や課題に基づいて目指す将来像や方向性を示し、地域資源を活かした活性化のあり方や住民のまちづくり活動と連携した方策についてとりまとめるものです。

なお、本計画の策定にあたっては、地区住民や関係団体の意向を把握するためにワークショップを開催しました。

2 計画の位置づけ

計画の推進にあたっては、第5次三島市総合計画、その他関連計画との整合を図ります。

■計画の位置づけ



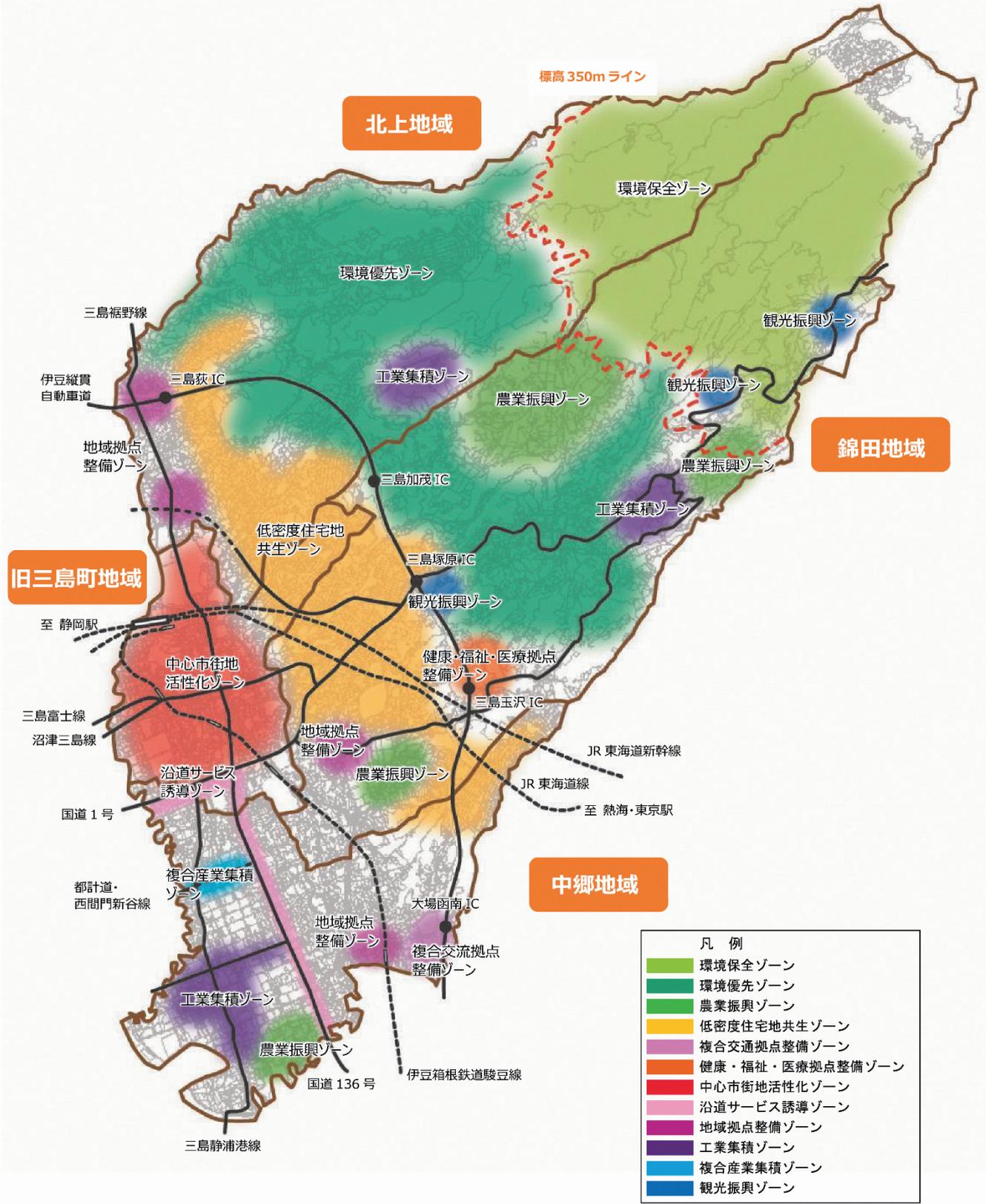
4 関連計画

本計画の策定に関わる主な計画は以下のとおりです。

計画名	関連項目
<p>第5次 三島市総合計画 [2021－2030 年度]</p>	<p>基本目標3 「未来につなぐ人材を育むまち」</p> <p>18 文化財</p> <p>(3) 文化財の環境整備と活用</p> <p>①文化財の環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の史跡指定を目指して向山古墳群の発掘調査を推進するほか、史跡山中城跡の保存活用計画を策定し、計画を推進するなど、文化財の計画的な保存活用に努めます。 <p>②文化財を活用した教育普及・地域活性の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他機関、団体、ボランティアなどとの連携による、文化財を活用した各種講座や団体見学などの教育普及に努めるとともに、日本遺産「箱根八里」の活用による誘客など、文化財を活用した地域活性化を図ります。 <p>基本目標4 交流とにぎわいのあるまち</p> <p>22 商工業・新産業</p> <p>(5) 特産品のPR・ブランド化</p> <p>①特産品のPR・ブランド化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箱根西麓三島野菜をはじめ、市内の農畜産物などを活用したPRイベントを開催するなど、特産品のブランディング化を推進するとともに、新商品開発を促進し農商工連携や6次産業化を支援します。 <p>23 観光</p> <p>(1) 観光資源づくり</p> <p>①回遊性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの観光客が訪れる三島スカイウォークや伊豆フルーツパーク、山中城跡などがある箱根西麓エリアと、三嶋大社や楽寿園、源兵衛川などがある市街地エリアを結び、市内での滞在時間を延ばすとともに、回遊性向上に向けた取組を進め、市内での消費を促進します。 <p>24 農業</p> <p>(1) 地域農業の活性化</p> <p>②地場農畜産物のブランド化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箱根西麓三島野菜やそのほかの地場農畜産物のブランド化を推進し、農商工連携や6次産業化の促進により、新商品開発や高付加価値化を図ります。また、地場農畜産物を地元で消費する地産地消を推進します。

計 画 名	関 連 項 目
<p>第4次 国土利用計画 (三島市計画) [目標年次：2030年]</p>	<p>錦田地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然、歴史、観光・レクリエーション、企業立地など特色ある地域の振興、既存集落の生活環境の向上、並びに自然と調和した低密度な住宅地の保全を推進する地域として位置づけます。 <p>ア 保全系区域</p> <p>〈環境保全ゾーン〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芦ノ湖高原別荘地及び芦ノ湖カントリークラブ並びに地域の活性化のための施設を除く、標高350m以上の公有地及び財産区有地については、自然環境の保全を原則とし、貴重な動植物などを保全していきます。ゾーン内の開発については、現状の土地利用の保全に努め、良好な環境を生かした自然とのふれあいの場、青少年の教育・学習の場などとして、多目的な森林資源の利用を図るための整備を行っていきます。 <p>〈環境優先ゾーン〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺の良好な環境との調和を図るため、環境保全ゾーンと同様に緑豊かな本市を象徴する斜面農地、貴重な動植物などを保全していきます。ゾーン内の開発については、周辺環境との調和に配慮していきます。地域中腹にかけての集落及び周辺の農用地を含む一帯については、農業基盤の整備を促進し、農作業の効率化を進めます。また、荒廃農地の改善に努め、優良農地の集積を促進します。 <p>〈農業振興ゾーン〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笹原新田・元山中・山田・三ツ谷新田・谷田地区などの一帯については、農業振興ゾーンとし、農地の集積・集約化を促進し、農業基盤の整備、優良農地の保全・確保を図るため、農業基盤整備事業を推進します。 <p>ウ 整備・集積系区域</p> <p>〈工業集積ゾーン〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道1号を軸とする三ツ谷新田地先一帯については、三島塚原インターチェンジに近接する交通至便な立地条件を生かし、流通業務施設や研究施設、工場などを適正に誘導し、地域経済の振興を促進していきます。 <p>〈観光振興ゾーン〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産「箱根八里」を構成する国指定史跡の箱根旧街道や山中城跡の周辺は、自然環境などを保全しつつ、歴史的風土や富士山・駿河湾の良好な景観などを活用した観光・レクリエーション施設の集積を適切に誘導していきます。 ・三島塚原インターチェンジを中心とする一帯については、東駿河湾環状道路と国道1号を繋ぐジャンクショナルな機能があり、交通の要衝であることから、観光・レクリエーションなどを主体とする開発を適正に誘導するとともに、周辺の自然環境・景観と調和する良好な整備を促進していきます。

■土地利用構想図



計 画 名	関 連 項 目
三島市歴史的風致 維持向上計画 [2016－2025 年度]	4 坂の集落の営みにみる歴史的風致 (1) 坂の集落の営みを構成する建造物と活動 ①水神講 ②氏神と祭礼 ③山中城跡・宗閑寺と人々の営み
三島市観光戦略 アクションプラン [2023－2028 年度]	基本方針 1 三島市ならではの観光資源づくりと磨き上げ 戦略 1 三島市の資源を活用した着地型観光の推進 基本方針 2 三島市と周辺地域を結ぶ広域観光ネットワークづくり 戦略 3 三島市内外の地域間連携の強化 基本方針 4 効果的なプロモーションの実施 戦略 8 デジタルマーケティングの推進
三島市景観計画 (改定版) [2024 年－]	<input type="checkbox"/> 箱根西麓の環境保全ゾーン ・森林等の自然景観の保全 <input type="checkbox"/> 箱根西麓の環境共生ゾーン ・斜面緑地の眺望景観に配慮した開発の誘導
第 2 次学校教育振興 基本計画 [2023－2030 年度]	基本方針 3 生涯を通して、誰もが活躍できる「場」の創出 1 学習機会の提供と環境整備 ②学習環境の整備・充実 ・個の主体的な学びを支援するため、生涯学習センターや公民館、箱根の里の計画的な施設改修・修繕に努めます。
三島市文化財 保存活用地域計画 [2025-2030 年度]	関連文化財群 2 東海道一の難所「箱根八里」 「箱根八里」に関連する多種多様な文化財の総合的、一体的な保存・活用を進める。 構成する文化財 箱根旧街道、山中城跡、同出土遺物、接待茶屋跡、接待茶屋関連資料、雲助徳利の墓、一柳院 など
史跡山中城跡 保存活用計画 [2023－2031 年度]	主な施策 ・調査研究を踏まえた追加指定と公有地化の推進 ・観光客等多様な来訪者による活用 ・多発する豪雨などの災害への対策を中心とした保存のための整備 ・ガイダンス施設建設の検討

計 画 名	関 連 項 目
<p>日本遺産「箱根八里」 地域活性化計画</p> <p>認定番号：62 [2018年一]</p>	<p>旅人たちの足跡残る悠久の石畳道 一箱根八里で辿る遥かな江戸の旅路— シリアル型（静岡県三島市、函南町、神奈川県小田原市、箱根町）</p> <p>【ストーリー】</p> <p>■箱根峠から三島宿へ、「箱根八里」西坂を辿る</p> <p>標高 845m、箱根峠の最高地点を越えると、街道は尾根道の下り坂に一変します。やがて街道の両側に、巨大なワッフル状の独特の堀を持つ山中城跡が見えてきます。山中城跡を過ぎたあたりからは一気に眺望が開け、なかでも富士見平は富士山の眺望地点として有名で、江戸時代に多くの絵が描かれ今も同じ風景を見ることができます。江戸時代の浮世絵師も気づかなかったという『左富士』もあって、東海道の稀少な景観のひとつです。</p> <p>東海道とともに開かれた街道沿いの新田集落は茶屋集落として栄え、副業の畑作の収穫物で旅人に料理がふるまわれました。うっすらと雪化粧した富士山をバックに、大根を干す情景はこの地の初冬の風物詩になっています。</p> <p>【ストーリーの構成文化財】</p> <p>④箱根旧街道（石畳） …願合地区、腰巻地区、笹原地区 ⑦箱根旧街道（一里塚）…笹原一里塚 ⑫山中城跡 ⑬富士見平の眺望 ⑭畑作地帯からの眺望</p>